

NEWS

★玉川高島屋 S・C クリスマスチャリティ “ホワイトエンジェルプロジェクト”開催中 12月25日(日)まで

「世界中の子どもたちに平和なクリスマスを」をテーマに、玉川高島屋 S・C と子供地球基金によるクリスマスチャリティプロジェクト。毎年、多くのお客様や企業からのご協賛を得て、世界に発信し続け今年で4回目を迎えます。巨大なもみの木のツリーや募金箱の設置とともに、世界中の子どもたちのクリスマス絵画展も同時開催中です。

開催期間：2005年11月16日(水)～12月25日(日)
場 所：玉川高島屋 S・C 本館1階グランパティオ
(田園都市線 / 大井町線 二子玉川駅前玉川通り)

※17日(土)、18日(日) 13:30～17:30 は、子供地球基金
オリジナルチャリティグッズの販売も行います。
(主催：玉川高島屋 S・C)



★チャリティ・シャンソンコンサート “クルール ドゥ ラ シャンソン”

クルール ドゥ ラ シャンソンによるチャリティーコンサートが、10月26日(水)にメルパルクホールで開催されました。有名なシャンソン歌手の方々によるガラコンサートで、毎年売上の一部を子供地球基金に寄付してくださっています。4回目の今年のテーマは「ガンバレ！ガンバレ！ガンバレ！みんな！」。すばらしい歌声と会場に展示した子どもたちの絵で、エネルギーが湧いてくるような夜でした。ご協力してくださった皆様

★Charity Wine Party チャリティワインパーティーのご案内

いつも多彩なゲストをお迎えし、気軽にご参加いただけるワインパーティーです。12月は大きなクリスマスツリーと子どもたちの描いたクリスマスの絵を展示し、温かなクリスマスパーティーとなりました。(参加者約50名、収益金140,535円)
子どもの絵をラベルにした「キッズ・アース・ワイン (崙ルミエール)」を味わいながらの楽しいパーティーは、来年も引き続き開催予定です。

開催日：毎月第1木曜日 18:30～20:30
会 場：キッズ・アース・ギャラリー (東京都渋谷区恵比寿 3-29-9)
参加費：男性 2,500円 / 女性 2,000円 (子供地球基金会員の方はそれぞれ500円OFF)
※ お申込みは子供地球基金事務局まで (Tel: 03-5449-8161 又は E-mail: info@kidsearthfund.org)

＜2006年(前半)スケジュール予定＞

1月 お休み 3月 3/2(木) 5月 お休み
2月 2/2(木) 4月 4/6(木) 6月 6/1(木)

※ 変更・中止になる場合もありますので、詳しくはHPをご確認下さい。

これまでの Fundraising 総額 (12回分)
¥ 1 , 4 8 4 , 1 0 3

★平成16年度 総会開催のご報告

去る11月22日(火)子供地球基金事務局にて、平成16年度通常総会が開催され、以下の議案について全て承認されましたことをご報告いたします。

第1号議案 16年度活動報告・収支決算
第2号議案 17年度活動計画・予算案
第3号議案 役員の選任

《平成16年度収支計算書(平成16年9月1日～平成17年8月31日)》

Ⅰ 収入の部	会費収入	1,733,217	Ⅱ 支出の部	ホーム事業	25,256,907
	寄付金収入	43,072,391		展覧会事業	1,427,676
	その他収入	168,486		広報事業	2,235,412
				支援イベント事業	1,259,618
				運営管理費	9,532,579
				その他支出	429,050
	収入合計	44,974,164		支出合計	40,141,242

※ 収支決算につきましては子供地球基金HP(www.kidsearthfund.org)でもご覧いただけます。
ご質問は子供地球基金事務局までお問合せ下さい。

NEW MEMBERS

新規にご入会いただいた方々です

(個人会員) 足立 英子 様
阿彦 由美 様
川邊 真木子 様
原井 久枝 様
眞壁 廉 様
渡辺 ゆり子 様

(ビッグファミリー会員)
木下 幹子 様

(2005年9月1日～11月30日現在・五十音順)

KIDS EARTH Report

No.030 Winter 2005



©子供地球基金 / KIDS EARTH FUND

このクリスマスツリーは、子供地球基金が1996年より支援をつづけているクロアチアの子どもが描きました。クロアチアでは、戦争によるトラウマを抱える子どもたちが、今なお多くいます。



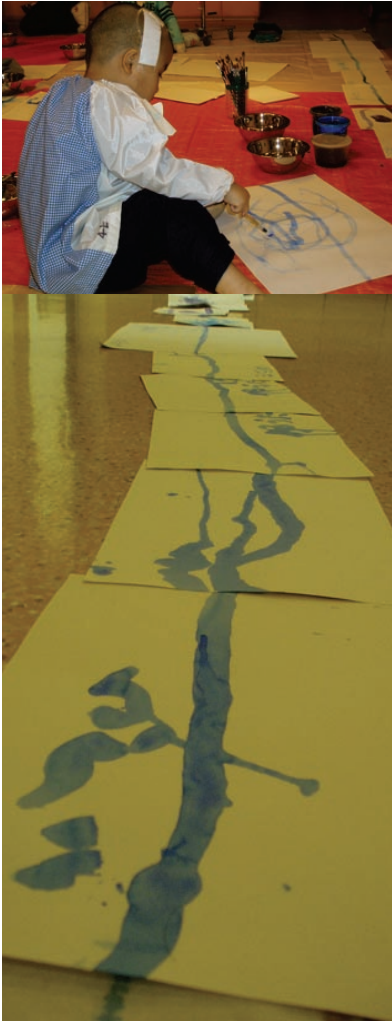


個性豊かな作品に！ 養護学校での紙すきワークショップ

9月末、愛育養護学校で紙すきのアートワークショップを行いました。型に原料を薄く注ぎ込んだ後、思い思いの飾りを入れて乾かします。スパンコールのような小さくキラキラした飾りを選んだり、大きくちぎった色紙を選んだり、紙が見えなくなるくらいめい一杯飾りを入れたり、参加した子どもたち一人ひとりの個性溢れる作品が出来上がりました。また今回は、リーマンブラザーズ証券の社員6名の方々がボランティアとして参加してくださり、楽しくにぎやかなワークショップとなりました。

海のむこう

キッズ・アース・カーの11月の訪問先は、慈恵医大附属病院・小児病棟です。今回のテーマは「海のむこう」。子供地球基金専属アーティスト・五十嵐靖晃が、4ヶ月にわたるヨットの旅で撮ってきた南の海の写真を見た後、子どもたちは思い思いに自分の画用紙に水平線を描きました。一人一人の水平線はまっすぐなもの、短いもの、くねっているものと様々でしたが、画用紙をつなぐと1本の長い長い水平線。病院の廊下にはみ出るほどの長い水平線ができあがりました。水平線の上に広がる空を飛び、下に広がる海を渡り、みんなのメッセージが海のむこうに届いたことでしょう。キッズ・アース・カー・プロジェクトでは、病院から出かけられない子どもたちに、想像と創作でワクワクするような一時をプレゼントしていきたいと思っています。



インターナショナルスクールが “Kids Helping Kids”に参加

キッズ・アース・ホーム東京には、グループでの訪問もあります。11月下旬、池袋にあるインターナショナルスクールに通う子どもたち12名と先生たちが、ホームを訪れました。ギャラリーに飾られた世界中の子どもたちのカラフルな絵は、リラックスする魔法をかけてくれます。緊張気味だった子どもたちの顔は、すぐにぱっと明るくなりました。その後は、お気に入りの絵を見つけたり、元気をくれる椅子“ハッピー・チェア”に座ってみたり・・・“ハッピー・チェア”をペイントした小児病棟の子どもたちの話は、真剣に聞いてくれました。学校に帰ってから、子どもたちは絵を描きました。教室に展示すると、そこはまるでギャラリーのよう！見にいらした方より募金を集め、子供地球基金に寄付して下さいます。こうしてまた一つ、“Kids Helping Kids”子どもたちによるチャリティ活動が広がってゆくきっかけとなりました。



第5号キッズ・アース・ホーム ホーチミン・ストリートチルドレンのための学校



～職業訓練のようす～

ホームには、基礎教育の他、刺繍やミシンのクラスを設け、将来子どもたちが安定した職につけるよう訓練も行っています。10月、刺繍のクラスでは、ベトナム郊外のリンチュン工業地区の工場から依頼を受けて刺繍制作に取り組みました。ホームの子どもたちが作ったものは、とても丁寧で、評判も上々。工場からは対価が支払われ、子どもたちにとっても、ストリートに出ることなくお金を稼ぐということを知るための、大切な体験学習になりました。その他、バイク修理や写真技術を身につけるための研修も行い、これまでに1名の子どもがバイク修理工、2名の子どもたちが写真家の見習いとして仕事に就いています。

～日本語クラスで「こんにちは」～

昨年11月には日本語クラスも開講しました。現在子どもたちは、平仮名五十音を学習中。ベトナム語はアルファベットで表記されるので、全く見たことのない文字を一生懸命覚えています。ホームには、日本からのお客様がたびたび訪れます。また、多くの子どもたちは、里親として多くの日本の方にご支援いただいており、日本にとっても興味を持っています。

第5号キッズ・アース・ホーム*には、現在156名の子どもたちが通っています。お客様の訪問を、歌や踊りで歓迎してくれる元気な子どもたちですが、戸籍がない、授業料が払えないなど、様々な理由で公立の小学校へ行く事ができません。ホームでは、シスター等の愛情をいっぱいに受けながら、無料で読み書きなどの教育を受けています。*隣ワールド航空サービスと現地NGOのFFSCのご協力により、2002年ベトナム・ホーチミンに建設。

《収益金の使い道と寄付先》

●カンボジア・・・¥1,307,720

一日5000人の貧しい子どもたちが、無料で治療を受けられる小児病院での治療費（31%）

●日本・・・¥759,322

白血病や小児ガンなどで入院する小児病棟の子どもたちとのアートワークショップ（18%）

●日本・・・¥590,583

いじめや家庭内の問題等、心に悩みを抱える子どもたちとのアートワークショップ（14%）

●ベトナム・・・¥253,107

路上生活をする子どもたちの学習費用（6%）

●クロアチア・・・¥253,107

内戦で心にトラウマを抱える子どもたちとのアートワークショップ（6%）

※上記以外につきましては管理運営費に使わせて頂きます。



コラム DEAR KIDS, DEAR THE EARTH vol. 11

加賀美 由加里
ランバン ジャパン 株式会社 取締役会長／子供地球基金 顧問委員

Earth our Mother Land, Love for children このキャッチフレーズで絵画展を銀座のランバンブティックで開催いたしましてから約7年の年月が過ぎその間、毎年5年間にわたり絵画展を開催できた事を大変嬉しく思っております。世界から子供地球基金が集めた子どもの描いた絵をお借りしてのチャリティ絵画展で、最終日には参加絵画の何点かをオークションにし、子供地球基金の活動の一部にさせていただきました。ランバンのブランドは、創始者のジャンヌ・ランバンが娘への愛から洋服を作り始めた愛のブランドです。子どもたちへの愛はブランドの基本的コンセプトなのです。子どもたちが子どもたちを救おうとの健気な気持ちにどうしても無関心でいられません。

参加した子どもたちの絵はどれも素晴らしく、思わず吹き出してしまうものや、自然に顔が緩んでしまうような、又とっても可愛らしくじいっと眺めてしまうものがたくさんありました。大人顔負けの想像力、色使いの大胆さはまったくの驚きで、5年間に展示させていただいた絵画のどれ一つとっても素晴らしいものでした。子供地球基金が歩んできた中で世界各国の有名なミュージアムで開催された絵画展には程遠いものでしたが、5年間にこの私どもで開催した絵画展のファンの方も多く、最終日でのオークションは白熱するものがありました。

現在力を入れているワークショップやカンボジアの病院への支援など、国際的に活躍していらっしゃる代表の鳥居さんには敬意を表します。先日の子供地球基金17周年のパーティーでチェリストであり又カンボジアの病院の代表をしていらっしゃる医師の方の言葉が心に響きました。

「普通に暮らせる幸せを持っている人にとっては、人道的な立場や同情心からではなく、チャリティは義務なのです。」



展覧会

●東京・恵比寿

11月7日（月）
トレンドユニオン
「2007年ライフ・スタイル・トレンド・セミナー」
SPAZIO2 藤カッシーナ・イクスシー B2F

●東京・恵比寿

12月10日（土）
「ヴァンサンカン25周年企画
チャリティパーティー with カルティエ」
シャトーレストラン ジョエル・ロブション

●東京・広尾

10月12日（水）
ザ・羽澤ガーデン

●東京・芝公園

10月26日（水）
「クール ドゥ ラ シャンソン」
メルパルクホール

●東京・世田谷

11月29日（火）～12月26日（月）
日産厚生会 玉川病院

●東京・二子玉川

11月16日（木）～12月25日（日）
「ホワイトエンジェル プロジェクト 2005」
玉川高島屋

SPECIAL NEWS

子供地球基金 17 周年 ファンドレイジングパーティー

10月27日、六本木グランドハイアット東京ボールルームにて、「子供地球基金 17 周年ファンドレイジングパーティー」を開催。約450名のお客様にお越しいただき、盛大に開催することができました。多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。今回のパーティーで得られた収益金は、様々な原因によって心にトラウマを抱える子どもたちへの精神サポートのために活用し、世界中でアートプログラムを展開してまいります。また一部は、当日チェロを演奏した Dr. Richner の運営するカンボジア無償小児病棟へ寄付いたします。子供地球基金はこれからも、子どもたちの明るい未来のため、活動を続けたいと思います。

■開催日時： 2005年10月27日（木）
■会場： グランドハイアット東京ボールルーム
■来場者数： 約450名
■パーティー収益金： 総額4,218,453円

■冠スポンサー： 株式会社デザインシステム
■ご協賛企業： 延べ63社
■ご協力/ご出演者（出演順）：
安田成美氏（ナレーション）／ビート・リッシーナ氏（チェロ演奏／岡崎ゆみ氏（ピアノ演奏）／前田知洋氏（クローズアップマジック）／ジャンカ・サウスウィック氏（MC）

